

議会だより

No.77

平成23年(2011)  
5月16日発行

# 議会だより

さわやかに歴史と未来の出逢うまち



上郡のマスコットキャラクター  
円心くんとエイトちゃん

## 3月定例会

- 当初予算に対する主な質問と答弁 P.2
- 監査委員の意見、同意案件 P.3
- 予算に対する討論 P.4
- 施政方針に対する主な質疑 P.5
- 付託審査報告 P.6
- 委員会報告 P.7
- 全議員宣誓書を提出・補正予算 P.8
- 各議案に対する議員の賛否 P.9
- 一般質問 P.10~14
- 議会テレビ中継に対する意見 P.15



東日本大震災からの復興を願う

“がんばれ日本”



▲ 支援物資の積み込み（上郡町役場）  
▶ 支援物資の仕分けをするボランティア  
(スポーツセンター・B&G)

# 当初予算に対する 主な質問と答弁

定例会は3月1日から24日まで（24日間）開催された。

諸報告、8名の議員による一般質問に続き、同意4件、議案11件、平成22年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算6件が上程され、うち議案二件を修正のうえすべて可決した。次に、町長の23年度施政方針と施政方針に対する質問があった。平成23年度一般会計当初予算及び特別会計当初予算9件もすべて原案通り可決した。また、請願3件は各常任委員会に付託され、本会議ですべて採択され、意見書もそれぞれ採択された。

## 【平成23年度一般会計予算に対する主な質疑と答弁】

問 国は東日本大震災の復旧、復興に充てる財源を捻出するため、地方交付税、国庫補助金等を削減すると予測する。削減される前に当町の防災対策事業、地域公共交通事業、学校給食事業等を早急に進めおくべきと思うが。

答 全く同じように感じており、できる限り早く進めるべきと思う。被災地以外の地域が活性化することにより、被災地が早く元気を取り戻すと考えている。

問 東日本大震災の復旧、復興のため、膨大な国家予算が

被災地に投入されるものと予測されるし、そうするべきと考える。町長から事業は早く進めるべきとの発言があり、不愉快極まりない。国民一人一人は自分が何ができるのかを考えていると思う。町長はどう考えているのか。

答 被災地以外の地域が元気にならないといけないとの思いで「事業は早く進めるべき」と言った。他市町より遅れている事業なので進めるべきだと思っている。

問 当初予算参考資料から予算通過への積極的な姿勢が伺えない。昨年度と比較してもページ数が少なく内容に乏しい。何故こうなったのか。

問 縮見橋、新田橋の開通式典はいつ頃行う予定か。

答 基金の運用状況や地方債残高など、議員の質問が多い項目を記載して作成したもので、他意は無い。

問

東日本大震災の復旧、復興に係る国の支出が増加することに伴い、地方交付税を始めとする国からの補助金、交付金の減額が見込まれる。当町の事業の優先度を予め決めが必要があると思う。既に決めているのか、これから始めるようとしているのか。

答 計上している地方交付税や交付金の状況が不透明だ、状況を見極めながら早急に対応していきたい。

問 特別職報酬等審議会をいつ頃開催する予定か。

答 予算措置はしている。人事院勧告や経済状況を見極め必要に応じて開催する予定だ。

問 昇任試験業務委託の委託内容は何か。

答 筆記試験、論文試験に係る問題の作成・採点を委託する予定だ。

答 縮見橋の完成日が平成23年12月末、新田橋が平成24年3月末と県から聞いている。

問 先に学校の教室に扇風機を設置するよう要望したが予算計上がない、なぜか。

答 誠に申し訳ない。設置の必要は認識している。学校の再編を考慮しつつ、猛暑の予報が出れば対処はしたい。

問 有害鳥獣駆除及び野生生物死体処理に多額の予算が計上されているが県の補助金は少額だ。毎年町が負担しなければいけないのか。

答 そのとおりである。

問 兵庫県は県民緑税を賦課しているが、当町にどのような受益があるのか。

答 緊急防災林整備事業として、人工林の間伐、間伐材を利用した斜面の土留め等だ。

## 平成23年度各会計予算

(単位:千円、%)

**総額124億4555万2千円**

	町 税	地方交付税	町 債	国庫支出金	県支出金	交付金	分担金及び 負担金	地方譲与税	諸収入	その他	合 計
一般会計歳入	2,467,874	1,870,000	584,734	447,805	419,282	279,034	78,026	106,680	129,927	426,638	6,810,000
	36.2%	27.5%	8.6%	6.6%	6.2%	4.1%	1.1%	1.6%	1.9%	6.2%	100.0%

	土木費	諸支出金	公債費	民生費	総務費	教育費	衛生費	農林水産業費	消防費	その他	合計
一般会計歳出	348,069	1,250,351	951,116	1,348,654	936,826	690,584	519,657	199,220	351,920	213,603	6,810,000
	5.1%	18.4%	14.0%	19.8%	13.8%	10.1%	7.6%	2.9%	5.2%	3.1%	100.0%

会計名		平成23年度	増減額 (前年度比)	増減率	会計名		平成23年度	増減額 (前年度比)	増減率
特別会計	国民健康保険事業（事業勘定）	1,746,159	△16,184	△0.9	特別会計	公共下水道事業	815,019	△108,542	△11.8
	国民健康保険事業（直診勘定）	78,366	6,633	9.2		公営墓園事業	29,082	945	3.4
	後期高齢者医療事業	212,190	△3,896	△1.8		ケーブルテレビ管理運営事業	61,862	962	1.6
	介護保険事業	1,330,809	60,988	4.8		小計	4,668,106	△110,971	△2.3
	簡易水道事業	76,867	△72,424	△48.5		水道事業	967,446	△125,914	△11.5
	農業集落排水事業	317,752	20,547	6.9		特別会計合計	5,635,552	△236,885	△4.0



### ▲ X線自由電子レーザー施設が完成したSPring-8

統一されたい。

1月27日から2月1日迄の4日間、監査が行われた。主な指摘は次のとおり。

○「時間外勤務等命令簿」の勤務内容を具体的に記入するとともに、記入方法は厳格に

監査委員の意見

- 非常に厳しい財政状況であり、また環境問題等も勘案し、職員1人1人の努力で節水、節電、ガソリンの節約等、経費の削減に努められたい。

○管理職手当について、現状では課長級と副課長級との差があまり無い状況にある。課長の職責を勘案し、若い職員の意欲を喚起するためにも差をつけるべきである。

住 所 宿 49  
生年月日 昭和21年1月8日  
氏名 本田吉住

住 所 落地 739  
氏 名 山本大成  
生年月日 昭和20年1月23日

(固定資産評価審査委員会委員)  
住 所 山野里872-1  
氏 名 木村義和  
生年月日 昭和23年9月5日  
(公平委員会委員)

同意案件

## 予算案に対する討論

【反対討論】

正義 崇 講員

1969年制定の同和対策事業特別措置法の施行以降、30数年間で約15兆円が費やされた。その結果、対象地域の住環境等の格差は是正され、国民の意識も前進し、1997年同事業は基本的に終結した。しかし、いまだに人権啓発の名で同和問題を人権問題の中心に位置付け、同和事業、

同和教育を統けていた。人権啓発教育の中身は、国民全てが差別意識を持つものとして、その心の内への介入を事業化しており、憲法が保障した思想・表現の自由等の基本的人権を侵害する事件まで起こしたものとは周知のとおりだ。人权尊重を目指すなら、学習会や発表校区を指定する人権事業を中止すべきだ。事業を地域独自の自主防災の取組み・

日も早い償還を行政が一貫しての姿勢で求めることが逆差別への意識を払拭させ、町民に受け入れられる人権尊重の理念へ繋がると考える。

支援に移行し、災害時に一人暮らしのお年寄りや身体の不自由な方の安否確認ができるよう地域のふれあいと結束を深める企画にすることが町民だ。また住宅改修建設資金貸付事業予算の滞納回収事業で一人一人の人権啓発本来の姿勢がないと毎年報告され、滯納元金だけで総額2千万円を超えていく。多くの方が差別解消に向け努力されているのに、一部の方の姿勢は事業の理念とはかけ離れている。一

ダムは昭和49年、51年の大水害を契機に安室川、千種川流域住民の強い要望で昭和57年より着工、平成3年度に完成した。住民は、国・県が建設費を負担する治水ダムを要望したが、国は自治体に負担が求められる水道用水事業も付加した多目的ダムの採択が早いとアドバイスしたと聞く。千種川の水道水源は枯れる恐れは無く、ダムの水を使う事態は来ないことを国も知つて

し利益を受けるのではない。都市計画税は市街化区域の土地家屋の所有者だけに受益者負担として固定資産税に上乗せし徴収されており、税の公平性、整合性に欠ける。上郡町は法定の最高税率0.3%を賦課しているが、市ならば最高の0.3%、近隣の町では0.1%や0.2%の低い税率のところも多数ある。税の公平性は財政の厳しさとは関係ない。都市計画税の見直しを求めるべき

▼藤本ゆうき 議員▲

日本全体が色々な意味で極めて大きな危機的状況にある。町もこれまで以上に厳しい状況に陥ることは、誰もが想像できる。目の前のことをこなすのではなく、いま何をすべきかを考え行動するかが問われるときだと思っている。町長の姿勢を到底受け入れることができず、23年度一般会計予算に反対する。

の負担部分は利子だけでも毎年5千万円を越える。ダムは治水には必要だが、将来も水道用水には使用しない。水道事業収入も無く平成41年まで毎年莫大な元金、利子を支払う無駄な負担は、上郡町や赤穂市、相生市の財政を大きく圧迫している。町長や赤穂市、相生市長及び関係者等の尽力で、県へ支払う事業費の一部負担が軽減されたが、あと18年間は続く膨大な住民負担を軽減するために、引き続き2市1町が協力し国に負担軽減を働きかけるべきである。

▼阿部 昭議員

財政的に大変な中で、苦労してこの予算書を作っている。公共交通網や学校給食の実施に向けてのスタートも切ることができた。ソフトでは子宮頸がんワクチン等の接種も可能になった。町民のことを考えた予算書だと思い賛成する。

防災対策の推進、高齢者の暮らしを支える地域公共交通の整備、学校給食事業の推進を重点施策としており、その上に多くの町民の願いや要望も組み入れた予算案である。国・県・市町村が借入金の重圧にいるなかで、東日本大震災による国難に遭遇した。国、県の財政出動が被災地支援、災害復興へと向い、本町も予想外の収入減と支出増が見える。経費削減、行政改革に更に努力することを誓い、本案に賛成する。

道路や、駅前広場等にしても、

いたと聞く。多目的ダムの建設により、水道用水目的割合

【贊成討論】

▼小寺政広議員▼

# 施政方針に対する主な質疑

平成23年度に行う事業の予定（施政方針）を町長が予算額と共に議会に提示、審議を求めた。各事業は総合計画（第4次）の5つの大項目に従い分類され、重点施策は防災対策、地域公共交通、学校給食の3事業である。議員の主な質疑を大項目ごとに示す。

## 1. 健康で安心できるまちづくり

・日本航空学園の誘致で2千名を越える人口増加が見込まれる。その方向に向け努力の必要があると思うがどうか。

- ・商工業振興について、本年度の具体策はなにか。
- ・商業振興及び学校跡地利用につき、町民を対象とした人材バンクを立上げ、町が行う事業に対して応援、助言等を求めるべきと思うがどうか。

・地域毎の防災訓練について、実施状況を把握しているか。

・東北関東大震災目の当たりにして、危機管理体制の視点が変わったか。

・兵庫県下で防災訓練に参加したことがない人が86%に及ぶという現状をどう考えるか。

・浸水地域や山腹崩壊危険地の近くに指定さ

れている避難所は早く見直すべきだと思うがどう考えるか。

・認知症サポート養成講座とは、具体的にどのようなものか。

## 2. 豊かな自然を生かした魅力あるまちづくり

- ・川の都を謳う当町は、観光客誘致のために千種川の大きな活用が大事だと思うがどうか。
- ・本町の特産品（モロどん等）を販売するとあるが、商工業の振興のため町内の店舗に販売を依頼するべきではないか。

で本町の特産品（モロどん等）

を販売するにあたっての記述

を次の施政方針に加えるべきだが、どう考えるか。

## 4. 元気とにぎわいを生み出すまちづくり

- ・地域公共交通を商工会、自治会等町民と連携して安定的に運営するよう知恵を出し合うべきだがどう考えるか。
- ・ため池の保全の記述が無い、重要だと思うがどう考えるか。
- ・ごみ減量化、リサイクルの推進について考え方を問う。

## 5. 住民が主役となるまちづくり

- ・施政方針で述べた施策について、予算と同様に実施状況等の検証を行うべきと主張しているが、今日まで返答が無いのは何故か。
- ・施政方針で述べた施策につけて通れない。町長のリーダーシップで農業政策をリードする必要があると思うがどう考えるか。また、上郡米を世界ブランドとして売ることは可能と考えるが。
- ・町内（播磨科学公園都市の区域内を除く）のどこを企業誘致先と考えているか。
- ・新たに建設する観光案内所

駅家跡の活用についての記述

を次の施政方針に加えるべきだけが説得力がないが、どう考えるか。

・施政方針は具体的表現が著しく少なく抽象的表現が目立つだけで説得力がないが、どう考えるか。

## その他の施政方針全般にかかる質疑

- ・公約の「企業誘致」「行財政改革」が重要施策から欠落しているのは何故か。
- ・多額の借金を抱えて学校給食事業、公共交通事業を推進しようとしているが、町長の任期は平成26年10月である。3期目も町政を担うのか。
- ・3つの重点施策も実施と決めたのなら強い意志をもってやり遂げて欲しい。決意を聞く。



## 総務文教常任委員会

意見が一致した。

## 民生建設常任委員会

数料の無料化は2年間延長。

### 〔質疑〕

住民基本台帳カードは、何人に発行しているか。えんしんネット等で普及啓発を行っているか。

### 〔意見〕

脳脊髄液減少症の診断、治療につき意見書を提出

住民基本台帳カードは、何人に発行しているか。えんしんネット等で普及啓発を行っているか。

郵便料や納付書、封筒の印刷費が増加する。

### 〔質疑〕

被保険者の負担感の軽減や収納率の向上によるメリットがある。また、1回の納付額が少なくなるので、払いやすくなる。

答 昨年11月末現在で771人。えんしんネット掲載後は約70人の申請があった。

答 昨年11月末現在で771人。えんしんネット掲載後は約70人の申請があった。

### 企業立地促進を図る

公共工事等により移設を余地の促進を図るために条例の一部を改正。

### 〔質疑〕

この改正は、林二(株)のみを対象としたものか。

### 国民健康保険事業の基金積立額を変更

基金への積立額を変更するため条例の一部を改正。

### 〔質疑〕

今後、公共事業等により移転を余儀なくされた企業の町外への流出を防止し、雇用の確保等に努めるための改正である。

### 国民健康保険税の徴収回数を変更

被保険者の負担感の軽減及び収納率向上のため、普通徴収による税の納期を6回から8回にする。

### 〔質疑〕

納付回数を8回に増やすことで事務経費はどうなるか。

## 2議案修正のうえ全議案を採択（3月7日開催）

### 高校普通科の通学区についての意見書を提出

兵庫県教育委員会は、

西播磨学区を姫路・福崎学

区と統合する計画を進め

ている。通学区の拡大に

より、競争の教育が進み、

学校間格差が大きくなり、

保護者や生徒の金銭的・

時間的負担も重くなる。

さらに高等学校の統廃合

の可能性や地域活性化の

阻害まで生じる。

当委員会は慎重審議を

経て多数決採決を行った。

### 〔意見〕

・個人の選択の自由が狭まるおそれがあるのでは。

・請願の書き方に不適切な表現がある。

・地域を守るために高校がなくなることは問題だ。

### 校医、園医の報酬を減額

兵庫県条例の改正に伴う小中学校医・幼稚園医の報酬の減額に全委員の

件を採択すべきと決した。

### 手数料の一部を改正

臨時運行許可申請手数料は、現行の650円から750円に改定。

住民基本台帳カード交付手

### 〔質疑〕

納付回数を8回に増やすことで事務経費はどうなるか。

当委員会は、慎重審議の結果、請願2件、議案5件を全一致で採択すべきと決した。

# 委員会報告

2月16日に総務文教常任委員会が、2月14日に民生建設常任委員会がそれぞれ開催され、各課が行っている事業等の進捗状況などが報告された。

## 総務文教常任委員会

### 昇任試験を実施

平成21年度策定の人材育成基準に基づき平成23年度から係長昇任試験を実施する。また

従来行ってきた能力評価と実績評価を次年度より昇任昇格へ活用する。

#### 〔質疑〕

機械的に進めると年功序列制度と变らないのでは。外部の人は入れないのか。

試験により客観的に評価したい。

機能するような運用が必要だ、2~3年のスパンでの目標設定はあるのか。

単年度基準になるが、先を見越した評価も想定している。

### 学校給食の検討

平成22年から内部検討委員会

で検討し「上郡町における学校給食実施に関する報告書」にまとめられた。

#### ・実施対象

町立幼稚園、小学校及び中学校

#### ・方式

センター方式、ただし中学校

についてはデリバリーウェイ

活用、希望者選択制も視野に入れる。

施設の運営

センター長と事務職員を配置、

献立立案は県派遣の栄養教諭

または栄養士が担当。

#### ・開始時期

平成25年度中の開設を目指す。

#### 〔質疑〕

用地は大枝幼稚園跡を想定しているのか。

白紙だが、財政上からは町保有地を利用したい。

委託業者はいるのか。

答 実績のある会社責任者が町に在住、地元の人を雇用する。  
問 給食は始めたが町は潰れたとなることが気に懸かる。今後人口が減り税収減が見込まれる。経費、起債償還等検討したか。

答 検討した。建設費は5億7000万円ランニングコストは年6000万円、起債償還は年に2000万円で合計8000万円の支出になる。

答 検討した。C評価は4事業で2事業は6000万円、起債償還は年に2000万円で合計8000万円の支出になる。

答 C評価は4事業で2事業は6000万円、起債償還は年に2000万円で合計8000万円の支出になる。

析患者特別助成事業がC評価の理由は。

答 自主防災は取組不充分、人透析は当初と送迎事情が変り、他の方式の検討が必要との提言がある。

問 これ迄にC評価になったものは。

答 C評価は4事業で2事業は6000万円、起債償還は年に2000万円で合計8000万円の支出になる。

答 C評価は4事業で2事業は6000万円、起債償還は年に2000万円で合計8000万円の支出になる。

## 民生建設常任委員会

### 赤松水源地移転

災害復旧等関連緊急事業による赤松水源地の機能回復が目的。

現地付近での水源地確保と合わせて岩木配水池からの給水も検討中。

### 石戸を上水道に統合

安定した給水の確保を目的に

上水道に統合。

#### 〔意見〕

防災訓練等18の事務事業につき、内部評価ではA評価11事業、

B評価7事業であった。外部評価では、A評価7事業、B評価9事業、C評価2事業であった。

#### 〔質疑〕

用地は大枝幼稚園跡を想定しているのか。

白紙だが、財政上からは町保有地を利用したい。

委託業者はいるのか。

送煙調査を実施し、管内部をカメラで調査する予定。

楠、河野原地区下水処理場を移転

移転の検討がはじまる。

町ぐるみ健診

基本健診、各種がん検診の受診状況は昨年度とほぼ同様。前立腺がん検診は若干の伸び。

〔意見〕

早期発見の実績等を町民に周知し、受診率の向上を図れ。

### ファミリーサポートセンターを設置

#### 〔質疑〕

活動中の事故に対する責任の所在は。

答 保障保険に加入している。子供への接し方等の講習会を行いたい。

町の助成(1000万円)はあるが収支のバランスは取れている。

### ピュアランドの経営状況

指定管理期限後の体制を町直営に戻す考えは無いのか。

現在の職員数では直営は難しい。

### 高田台排水管の調査

方法を採用してほしい。

答 現在の職員数では直営は難

全議員宣誓書を提出

**上郡町議会議員政治倫理条例**  
が本年4月1日から施行された。

同条例第3条の規定により、議員は条例を遵守する旨をしめす宣誓書の提出を求められ、左記の議員が宣誓書を提出した。



## 工事請負変更契約締結の件

- |           |                                      |
|-----------|--------------------------------------|
| 1. 契約の目的  | 駅前広場築造工事                             |
| 2. 契約金額   | 変更前 61,939,500円<br>変更後 62,254,500円   |
| 3. 契約の相手方 | 上郡町上郡987-1<br>株式会社新岡本組<br>代表取締役 岡本喜男 |

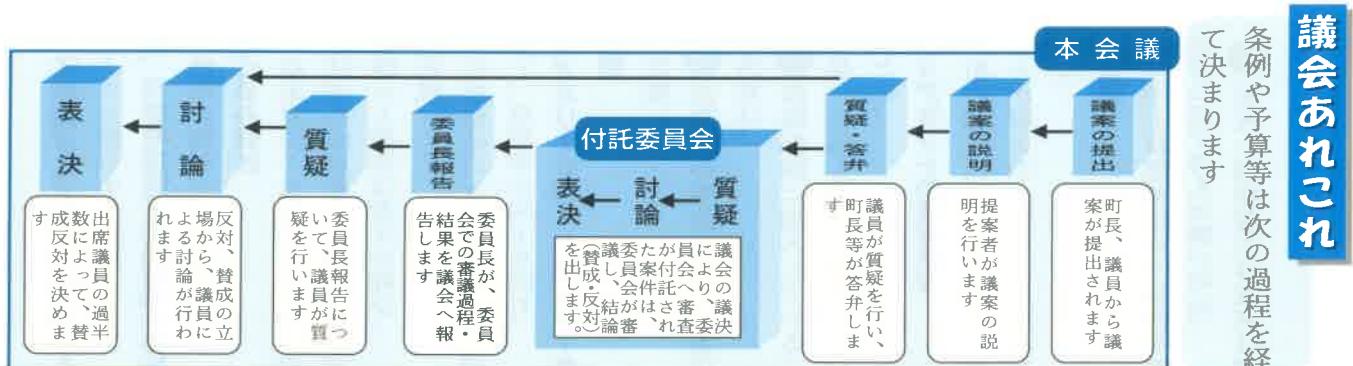


#### ▲ 完成間近 “駅前広場”

## 平成22年度予算の補正

(単位：千円)

会計名	補正前	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計	7,003,701	258,819	7,262,520	高田小学校耐震補強改修工事等の増
特別会計	国民健康保険事業会計（事業勘定）	1,779,186	13,436	被保険者の医療費増に伴う療養給付費等の増
	国民健康保険事業会計（直診勘定）	75,441	2,184	患者数の増、予防接種受託に伴うワクチン等医薬品の購入費の増
	介護保険事業会計	1,289,050	184,775	給付実績による介護給付費等の増
	農業集落排水事業会計	—	—	繰越明許費の設定に伴う補正
	公共下水道事業会計	914,720	△15,300	下水道整備事業費の減額補正
	公営墓園事業会計	28,137	—	事業内での予算の組替え
ケーブルテレビ管理運営事業会計	71,291	7,811	79,102	支障移転の事業費の増



## 3月定例会で提案された各議案に対する各議員の賛否

採決では議案に対する各議員の「賛意」は、議長の「本案に賛成の諸君の起立を求めます」という発言に応じて起立することで示される。したがって「起立しない」は、議案に対し賛成しないことだけを示す。下の表で○印は採決でその議員が起立したことを示し、「欠」は議員が採決に参加しなかったことを示す。

	案 件	(※印は各常任委員会に付託された案件)	井口まさのり	橋本正行	大政正明	藤本ゆうき	阿部昭	赤松初夫	小寺政広	沖治幸	田渕重昇	村上崇	工藤
1	上郡町固定資産評価審査委員選任の同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	上郡町公平委員選任の同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	上郡町公平委員選任の同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	上郡町監査委員の同意		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
5	兵庫県市町村職員退職手当組合規約の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	工事請負変更契約締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	「高校普通科の通学区・西播学区を拡大しないことを求める意見書」提出を求める請願※		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
8	特別職職員（非常勤）の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正※		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	特別職職員（常勤）の給与及び旅費に関する条例の一部改正（修正案）※		○	○	○		○	○	○				
10	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正（修正案）※		○	○	○		○	○	○				
11	職員の給与に関する条例の一部改正※		○	○	○		○	○	○	○		○	○
12	「脳脊髄液減少症診断治療の確立を求める意見書」提出を求める請願※		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	「TPPの参加に反対する意見書」提出を求める請願※		○	○		○	○		○	○	○	○	○
14	上郡町手数料徴収条例の一部改正※		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	上郡町特別会計条例の一部改正※		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	上郡町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部改正※		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	上郡町国民健康保険税条例の一部改正※		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	上郡町企業立地促進条例の一部改正※		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成22年度上郡町一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
20	平成22年度上郡町特別会計国民健康保険事業補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
21	平成22年度上郡町特別会計介護保健事業補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
22	平成22年度上郡町特別会計農業集落排水事業補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
23	平成22年度上郡町特別会計公共下水道事業補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
24	平成22年度上郡町特別会計公営墓園事業		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
25	平成22年度上郡町特別会計ケーブルテレビ管理運営事業補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
26	平成23年度上郡町一般会計予算		○	○	○		○	○	○	○	○	○	欠
27	平成23年度上郡町特別会計国民健康保険事業予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
28	平成23年度上郡町特別会計後期高齢者医療事業予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
29	平成23年度上郡町特別会計介護保健事業予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
30	平成23年度上郡町特別会計水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
31	平成23年度上郡町特別会計簡易水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
32	平成23年度上郡町特別会計農業集落排水事業予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
33	平成23年度上郡町特別会計公共下水道事業予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
34	平成23年度上郡町特別会計公営墓園事業予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
35	平成23年度上郡町特別会計ケーブルテレビ管理運営事業予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
36	「高校普通科の通学区・西播学区を拡大しないことを求める意見書」		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
37	「脳脊髄液減少症診断治療の確立を求める意見書」		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
38	「TPPの参加に反対する意見書」		○	○		○	○		○	○	○	○	欠



藤本ゆうき 議員

**問** 厳しい財政状況において、将来に禍根を残さないよう十分精査し事業を計画する必要があると思うが、町長は、財政危機をどのように認識しているか。

**町長** 選択と集中をはっきりさせ、投資効果を考えながら①福祉施策、②地域公共交通、③給食については誠心誠意やつていただきたい。

**問** 給食センター事業を実施、運営していくことで、財政破綻が懸念されるがどうか。

**町長** 財政的に見通しを立て対応している。当町の子どもたちの基盤になると考え、

**問** 佐用町で設置された太陽光発電装置を備えた防犯灯は、避難時に停電になった場合非常に有効である。当町での設置の予定は。

**町長** 整備は困難。今年度は、基幹避難所用として発電機の購入を予定している。

**問** 重点施策として取り組んでいきたい。

**問** 住民生活の安心・安全を脅かす不測の災害は絶えることがなく、行政に寄せる期待は増す一方だ。町長は、安心・安全のまちづくりについて積極的展開を図ると明言しているが、所見を尋ねる。

**町長** 日頃からの備えがあつてこそその防災だろうと思う。現在、地域防災計画を見直し

## 財政危機と事業計画について

**選択と集中をはっきりさせる**

**防災問題について**

**防災資機材倉庫**



3月1日から2日までの2日間、8人の議員が一般質問に登壇した。主な質問の内容、町長等の答弁の要旨は次のとおり。



### 1番 藤本ゆうき 議員

財政危機と事業計画について ..... p.10

### 2番 工藤 崇 議員

公約「給食」「公共交通」は本気か ..... p.11

### 3番 阿部 昭 議員

給食センターを学校跡地で ..... p.11

### 4番 小寺政広 議員

住民の雇用と町民債の発行を ..... p.12

### 5番 井口まさのり 議員

審議会委員と審議内容は ..... p.12

### 6番 橋本正行 議員

TPPへの対応はどうか ..... p.13

### 7番 赤松初夫 議員

人材探しに三顧の礼を ..... p.13

### 8番 大政正明 議員

将来負担比率がワースト21位だ ..... p.14

## 「議会だより」のモニターを募集

「かみごおり議会だより」は定例会・臨時会・常任委員会の主な審議内容、議員の研修等の報告を通じ、議会の活動を町民の皆様に知って頂くために刊行されています。発行は年4回で、各戸に配付されています。

近年住民との協働に向けた方向性が議会広報にも求められ、議会広報紙の研究会でも住民の意見の掲載を奨励されるようになりました。議会から住民への情報発信ばかりではなく、住民が議会へ向けて意見を発信することが必要とされています。

そこで町民の方若干名に「かみごおり議会だより」のモニターになって頂き、町民の目で内容をご検討頂き、ご意見を「議会だより」に掲載することにしました。ご検討頂くのは77号から1年分(4部)です。ご協力いただける方は議会事務局(電話:52-3512)へご連絡ください。

## 公約「給食」「公共交通」は本気か

両方とも任期中に実施する

問 町長が公約した「学校給食」「公共交通の整備」は、上郡町にとって一番必要な事業である。「やる」「やらない」を明確に。

町長 給食、公共交通に対し



工藤 崇 議員

問 町長が公約した「学校給

て今までにはっきりせず、うろくなことをお詫びする。給食は25年度に実施する。幼・小学校はセンター方式で、中学校はデリバリ方式で行う。

コミュニケーションバス（高田、高田台、上郡、鞍居地区）は今年12月の限見橋完成と同時に、デマンドタクシー（赤松、岩木、船坂、梨ヶ原）は9月頃に実施する。任期中にこの

地域の自主防災組織の強化を

2つは最低でもやる。

問 水害や地震で、体の不自由な方やお年寄り、子供などを守る地域の自主防災組織の強化を働きかけては。

町長 各自治会長に自主防災組織の活動を問うと、67%がほとんど活動していないという答だった。これまで町の防災計画では地域の自主防災組織が生かし切れていた。

## 給食センターを学校跡地で

全廃校を対象に検討する

問 小学校・幼稚園の統廃合

すべき。

町長 船坂小学校でとの提案で8つの施設が廃校になる。

その地域の活性化のためにも給食センターの建設場所として考えてほしい。新しい建物ではなく既設の建物を再利用

命のバトン「救急医療情報キット」の配布を



阿部 昭 議員

問 情報キットとは持病、かかりつけ医、血液型、薬剤提供書等の医療情報や救急連絡先を記入した救急安心カード

が入っており、それを自宅冷蔵庫の扉で保管する。救急車を呼ぶと隊員がカードを確認し病院と連絡が取れる。これは適切で迅速な医療を行える「命のバトン」とも言われており、早急に事業化を。

町長 高齢者見守りネットワークの構築に向けて高齢者台帳システムの導入と台帳整備を進めている。情報キットにつつ負担する。県の補助が行われる10月から本町も実施に向けて予算措置を進める。

子ども医療費助成拡充を

命のバトン

問 公明党の女性議員で署名運動を行い県下で15万人の協力を得て知事に助成を求めた。

県は決定したが本町の実施は、

町長 小学6年生までの通院



▲ 地域をつなぐコミュニケーションバス

防災力の向上に同組織への支援を重点的に実施する。

企業誘致に力を

問 若い世代の定住促進と町の自主財源の確保のためにも上郡町の良さを発信し企業誘致に努力を。

町長 播磨科学公園都市への誘致は遅々として進まない状況であるが、企業庁と情報交換しながら定住自立圏協議会で取り組みたい。

## 住民の雇用と町民債の発行を

基本的に大賛成

地元の農産物と  
加工食品で

加工食品で

問 学校給食は、健康で豊かな地域・賑わいを生み出す町をつくると確信して、以下提



小寺政広 議員

言する。

1は、住民の連携による地産地消の仕組みづくりを。

当町は多くの農産物を生産しており、豆腐や味噌、こんにゃく、モロなどとの加工食品もある。

2は、経済の地域内循環、働き場の創出等をとおして支出を地元に還元する。

調理員の賃金、食材費、水

道料金などのお金が町内を巡るシステムにする。

3は、町民債（町民からお金を借りる）の発行を。

町民が町にお金を貸し給食施設を整備する。利子は町民の利益になる。

町長 基本的に大賛成。地産地消は重点的に対応する必要があり、経済の循環は重要なと考へている。

給食センターの運営は民間企業を活用するが、業者の選定は町民の雇用を条件に入れ

ておきたい。

町民債は、町民全体に受益があるものについて発行を考へるべきと思つ

ている。

問 町民に利益を還元することは大事なことだ。

町長 町民債のメリットは皆で整備したという連帯感で、今後の課題だと思っている。

## 審議会委員と審議内容は

以前からのやり方で行った

問 町長自身の報酬を審議する

報酬審議会に親戚と後援会の会長を選任したが、これについて町長の考え方を聞きたいた。

町長 従来と同じ役員を選任した。

問 町長は、2期目の選挙をする無投票で再任されたので信頼の確保が重要である。このたびの委員選任には問題があるのではないか。

町長 私は特に気を使つてはない。それについてどうなるといった方々ではない。

問 報酬審議会の答申内容は

15%カットとなっているが、実質上は7%アップとなる。

これについて町長の意見は。

町長 下げるだけがよいのではないと思つている。

問 今回の審議会の開催は、財政状況を考えた上で開催なのか、それとも議員に言われてのことなのか。

町長 現在の財政状況を踏まえての検討であり、財政は私が町長になってから上向きになつてている。

問 財政は上向きになつているのか。新年度予算の編成に基金を1億6000万円取り

崩している。財政状況は依然として厳しい状況ではないのか。また、補正等で基金の取り崩しをすることがあれば、その時もう一度審議会を開催する気持ちはあるか。

町長 報酬審議会は今まで年に1回しか開催していない。

◀ チューリップ満開（新都市）



▲ 楽しくクッキング教室（上郡中学校）

# 一般質問

## TPPへの対応はどうか

注意深く見守っていく

上郡町の農業の将来は

TPP（環太平洋戦略的

経済連携協定）が6月に国策の俎上に上がって10月から本格的な交渉になる。本町の認



赤松初夫 議員

定農家、営農組合の考え方は反対か賛成か聞いているか。  
**産業振興課長** 直接聞いていい。関税撤廃になると具体的には安い米等が輸入され、国内の農業に多大の影響を与えると言われている。現在、農業会議、農協などが反対の署名を募っている。

問 TPPの対応について、町長としてどう考えるのか。



橋本正行 議員

「人は石垣人は城」とは如何に人材が大切かを語った言葉だ。地方分権の時代、町

## 人材探しに三顧の礼を

各種委員会等の委員選びは

委員の人選に工夫をしたい

長の職権が物を言う時代であり、人材の活用について聞きたい。

問 町長 現に多くの人材が多方

面で活躍している。公募で選んでいる部分もある。

問 委員選任により広い人材

起用を考えてはどうか。

町長 法律の縛りもあり、各

種団体の長が多く審議会・委員会に入っている。それで

意味があることだ。今からも広く人材を求めるスタンスだ。  
問 同一人物が5つ、6つもの委員会、審議会の委員になつてているケースもある。当て職など安易な方法にたよらず、再選は2回までとか、兼任はいくつまで等と規約を変えれば簡単だ。

三顧の礼を尽くしても参加してもらいたい人物はいるはず。

町長 それが難しい。この指

確かに世界の穀物価格はどんどん上がる。一方では燃料が高騰し、農業生産に携わる人々も非常に高齢化し、日本の農業の根幹を担う人々もリタイヤする時期がきている。

町のあり方としては地産地消を進め、地域の農業者と手を取り合いながら、他の地域との連携も含めて考えていく必要があると思う。

**町長** 現在の世界情勢では、確かに世界の穀物価格はどんどん上がる。一方では燃料が高騰し、農業生産に携わる人々も非常に高齢化し、日本の農業の根幹を担う人々もリタイヤする時期がきている。

**産業振興課長** 転作田に景観作物の菜の花、ひまわり、コスモスや地力増進作物のれんげ、クローバーなどを植えるためには、農業者の協力が必要だ。観光資源となる可能性がある。まちづくりや地域活性化に繋がるよう取り組んでいきたい。

**問 農業対策と町づくりの連携は。**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んで

いきたい。

**問 農業対策と町づくりの連**

作物の菜の花、ひまわり、コ

スモスや地力増進作物のれん

げ、クローバーなどを植える

ためには、農業者の協力が必

要だ。観光資源となる可能性

がある。まちづくりや地域活

性化に繋がるよう取り組んでいきたい。



学校支援ボランティア



菜の花畠風景



赤松初夫 議員

「人は石垣人は城」とは如何に人材が大切かを語った言葉だ。地方分権の時代、町

長の職権が物を言う時代であり、人材の活用について聞きたい。

問 町長 現に多くの人材が多方

面で活躍している。公募で選んでいる部分もある。

問 委員選任により広い人材

起用を考えてはどうか。

町長 法律の縛りもあり、各

種団体の長が多く審議会・委員会に入っている。それで

止まれでは駄目だと思う。自

己の意見を述べたい。

治会の推薦には、この人物は間違いないという意味がある。

それを無にすることは問題だ。議員の言うことも理解する。

人選に工夫をしたい。

問 学校支援の人材確保は

学校の要望に応え得るか。

学校教育課長 今のところ大

丈夫。通学途上の安全対策に一番多くの支援が必要であり、教科関係は今後の問題だ。

学校支援ボランティア

学校の要望に応え得るか。

学校教育課長 今のところ大

丈夫。通学途上の安全対策に一番多くの支援が必要であり、教科関係は今後の問題だ。

# 変わりゆくわが町

千種川河川改修工事が、急ピッチで進んでいます。工事の進捗に合わせて、変わりゆく千種川の風景を掲載します。



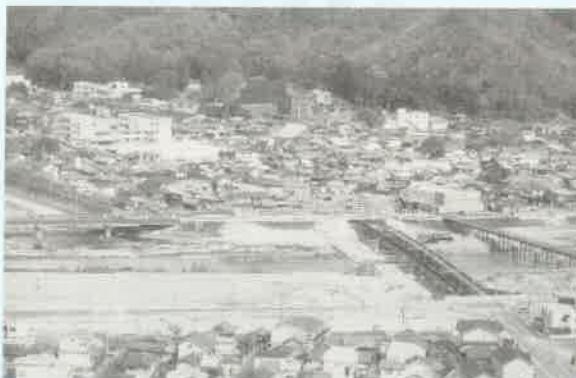
▲ テレビ塔から (H23. 4. 12)



### ▲ テレビ塔から (H23. 4. 12)



### ▲ 駒山から (H23. 4. 17)



### ▲ 駒山から (H23. 4. 17)

**将来負担比率がワースト21位だ**

数値に注意を払い運営する

行政改革は

**問** 一般会計・特別会計を合  
わせた決算額の平成16年度と  
21年度分を比較すると、第4  
次行政改革の効果が約21億円

となる。町の示す約45億円は仮想的な数値が入っており住民に分かりにくい。

A black and white portrait of James R. Thompson, an older man with glasses, wearing a suit and tie.

大政正明 議員

問 第4次行政改革の検証に  
1年間かけたが、結果を示せ。

**企画財政課長** フライマリー  
バランスの黒字化を保ち運営  
したい。

要する。業者へ出すのが一番  
よいと考える。

の効果はあつた。第5次では、経費には現れない部分だが住民参画・協働を中心に近い部分としたい。

**企画財政課長** 36事業で、総額8700万円である。  
**問** コンサルタントに委託を決める基準はあるのか。人材育成を考慮すると高い基準が良いが。

したのは何事業か。

**企画財政課長** 36事業で、総

上課點評修改範本(第4次)

平成18年3月策定

▲ 上郡町行政改革大綱（第4次）

# 議会のテレビ中継に対する町民の声

3月議会から議会審議の様子

が「えんしんネット」を通じて中継されるようになりました。

議会中継の技術的な向上ばかりでなく、より良い議会審議の実現を目指し、当事者の発言の態度・内容について、町民のご意見の聞き取り調査を広報委員が行いました。以下に皆様方から寄せられた感想、要望を要約しました。

## 【感想】

・議会の傍聴に行けない者にとり、審議の様子がよくわかり非常に良かつた。

・光ケーブルを通じた議会中継は町政の歴史で画期的であり、町政の活性化に寄与することが期待される。

・中継により議会審議の民主的運営と活性化が期待される。

・審議に対し議員の真摯で意欲的な姿勢が期待される。注視されている中で自分の主張を述べることは、議員にとりメリット

がある。

・中継を機に町民の町政談義がまきおこることを期待する。

・議会の様子を知らないなかたが、一般質問での真剣なやりとりに改めて興味を抱いた。

・デジタル配信のため非常にきれいな画面で見やすかった。

・傍聴席から見ているような臨場感があった。

## 【要望】

・議会中継は町政のことがよくわかるので、このまま続けてほしい。

・仕事から帰った時間や、休日にも見られるよう再放送してほしい。

・インターネットでも配信してほしい。

・中継の日程を予め知らせてほしい。

・中継中にテロップで、審議中の議案の紹介をしてほしい。

・カメラを意識せず自然体で発言するべきだ。

・町長が答弁し着席する時の態度、姿勢が気になる。気をつけるべきである。

・答弁に立つ担当者で下を向き原稿を読んでいる姿は疑問だ。

・自分の頭で練り上げた答弁でないのか。せめて質問に立つ議員の目を見て答弁してほしい。

・質問者は問題をもう少し掘り下げて追求してほしい。

・発言者の意欲を読み取ることができるので、「アップ」の画像があると良い。

・放映の効果を調べ、町民にもアピールをしてほしい。

・質問・答弁ともに慣れないためか音声が時々聞きづらいことがあった。発言者が常にマイクに向かって話しているわけではないので集音方法や音のレベルを少し工夫した方が良い。

・休憩になる時や終了直後に音声だけが20秒程度流れるのは良くない。音声も同時に切れるよ

うにしてほしい。

・注がれたものと判断いたし

・国会の委員会中継では場内模様を時々映すが、これと同じように議員側の模様も見えるようになります（私が見たときにはなかつた）。例えば、上下に画面を分割し、常に全体を眺めるなど。

## 町民の声を受けて

さまざま声をお聞かせ頂いた方々に感謝いたします。頂いた声に真摯に耳を傾け、より良い上郡町議会の実現に今後も努力します。特に要望の多い議会中継の再放送については、インターネットを介しての録画の配信を準備中で、上郡町のホームページから議会のホームページに入って頂き、そこで録画をご覧頂けるよう鋭意作業を進めています。

ご要望の中には議員、行政担当者に対し厳しい指摘もありました。日常何気なく安易に済ませていることに対し、町民の厳しい目が

ます。

最近インターネットで、議員活動に関する「議員力検定」が話題になっています。議員力検定協会が検定試験と講座を通して、「小・中学生から大人まで」と対象を議員から一般人に拡げ、民主主義の基本である議会政治や政治の仕組みを、検定を通して学ぶことを狙っています。

この様な動きが広がると、私達議員も研鑽を怠るわけにはいきません。



▶ 議会のテレビ中継（上郡町役場）

# 東日本大震災 上郡町の支援活動

かみごおり  
議会だより

No.77

平成23年5月16日発行

発行／兵庫県上郡町議会  
編集／議会広報調査特別委員会



▲ ボランティアによる仕分け（スポーツセンター・B & G）



▲ 被災地へ向け出発（上郡町役場）



▲ 被災地で受け入れ

## 議会ホームページから 会議録がご覧になれます

町のホームページからアクセスできます。  
(<http://www.town.kamigori.hyogo.jp/>)

## 傍聴へどうぞ!!

車イスもあります  
次回は 6月7日開会予定  
テレビ中継は午前10時より

人は時に自然をコントロールできると過信して様々な防災対策を行ってきましたが、この未曾有の災害を目の当たりにして、人間の弱さや愚かさ、自然の恐ろしさを改めて感じさせられました。災害発生直後は、自分の命は自分で守らねばなりません。

いま一度、ご家族、友人と防災について話し合ってみてはどうでしょうか。

このたびの東日本大震災により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。当町も含め全国の自治体、企業、個人、更には世界中の人々が、いま自分にできることは何かを考え、行動に移していくなりません。

編  
集  
後  
記